

「将来へ目標持って」

OG3人、後輩にエール

生徒たちに職業や仕事への認識を高めてもらおうと、館林女高（新井久夫校長）は5日、同校体育館で同窓生を招いたキャリアセミナーを開いた。2年生約230人がさまざまな分野で活躍している先輩の生の声を聞きながら、将来の夢と目標設定に思いをはせた。

館林女高でセミナー

5日、同校体育館で同

会社経営者と管理職、保健師の3人が講師を務め、仕事内容や働く意義などについて語った。製造業社長の手島由紀子さんは「より高みを目指すことで、会社で見える景色が変わり、仕事が面白くなっていた」と経験談を披露し、果敢に挑戦する気持ちを持つてほしいと呼び掛けた。

取締役管理部長を務める長谷川恵子さんは「社会に出ると、自分の思い通りにいかないことはたくさんある」と社会の厳しさを強調。保健師の大谷直子さんは「今の時期はすごく大切。将来のためにも、具体的なイメージや目標を持って高校生活を過ごしてほしい」とエールを送った。

電子機器メーカーで

同高生は大学や短

大、専門学校などへの進路希望者が9割以上を占める。矢口絢菜さんは「大学卒業後の進路について悩んでいる。まずはしっかりと将来の目標を持ちたい」と話した。